

## 平成 26 年度飯田市役所 ISO14001 相互内部監査の総括及び報告書の集約

○飯田市役所環境マニュアル第 4.5.5 章 9※による市長への報告

※代表内部監査員は、内部監査結果を総括し、環境管理委員会において市長に報告します。

### 1. 内部監査の概要

#### (1) 監査目的 (4.5.5 章 1)

- ア 飯田市役所の環境マネジメントシステムが適切に運用されているか
  - イ 前回の内部監査で指摘された改善の機会に対して是正処置又は予防処置がとられているか
  - ウ 飯田市役所の環境マネジメントシステムが適用規格の要求事項を満たしているか
- 以上 3 点について確認。

(2) 実施期間 平成 26 年 7 月 18 日 (金) ～ 8 月 22 日 (金)

#### (3) 監査対象

- ア 適用範囲内の全ての部課等 (72 部課等及び環境管理責任者・事務局)
- イ 取り組みレベル 2 の施設 (直営施設、指定管理施設及び委託施設の中から下記の 2 施設を抽出し、現地監査を実施)
  - ※ 鼎公民館、天龍峡温泉交流館
  - ※ 上記以外の施設については、各課の監査の中で実施。
    - ・ レベル 1 サイト・・・正規職員配置部署で、環境マニュアルの全てが適用。
    - ・ レベル 2 サイト・・・順守評価する施設関連法令等がある施設。環境影響評価、法令等の特定及び順守評価、エネルギー使用量の報告を行う。
    - ・ レベル 3 サイト・・・順守評価する施設関連法令等がない施設。環境影響評価、エネルギー使用量の報告を行う。
    - ・ 適用サイト外・・・学校いむす等他の EMS を運用している施設、派遣先施設、自治会等が管理する集会施設等。

#### (4) 監査基準

- ア 環境マネジメントシステム規格 JIS Q 14001:2004 (ISO 14001:2004)
- イ 飯田市役所環境マニュアル第 27 版及びその他の環境マネジメントシステム文書

#### (5) 監査チームの概要

- ア 監査体制 9 チーム (内部監査員 57 人)
- イ 監査員の任命  
内部監査員教育 (6/19, 20 実施) の受講者で、内部監査を行う力量を持った職員を任命
- ウ 相互内部監査員  
延べ 25 人 (オブザーバ参加者含む) が相互内部監査員として参加 (前年度 51 人)  
※ EMS 審査員 6 人 (自治体 1 人含む)、市民監査員 (ISO 研究会) 19 人

### 2. 内部監査の結果

(1) 賞賛事項、是正処置を要する改善の機会、被監査課に対する改善の提案及びシステム提案の件数

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ア 賞賛事項          | 109 件 (前年度 118 件) |
| イ 是正処置を要する改善の機会 | 22 件 (前年度 35 件)   |
| ウ 被監査課に対する改善の提案 | 56 件 (前年度 22 件)   |
| エ システム提案        | 31 件 (前年度 62 件)   |

## (2) 賞賛事項、是正処置を要する改善の機会、被監査課に対する改善の提案及びシステム提案の内訳

	適用範囲	環境方針	環境側面	法的及びその他の要求事項	目的・目標及び実施計画	資源、役割、責任及び権限	力量、教育訓練及び自覚	コミュニケーション	文書類	文書管理	運用管理	緊急事態への準備及び対応	監視及び測定	順守評価	改善の機会・是正処置及び予防処置	記録の管理	内部監査	マネジメントレビュー	パフォーマンス	創意工夫のある取り組み	その他	合計
賞賛事項	1	4	23	0	16	0	22	2	0	2	9	2	1	0	0	0	1	0	14	4	8	109
是正処置を要する改善の機会	0	0	4	5	5	0	1	0	0	0	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	22
被監査課に対する改善の提案	1	1	8	4	10	7	6	2	0	0	0	6	3	2	1	0	4	1	0	0	0	56
システム提案	0	0	7	4	1	1	2	2	2	0	2	5	1	0	0	1	1	0	0	0	2	31

## (3) 是正処置を要する改善の機会の主な内容

項目	主な内容	件数
1 適用範囲	—	0
2 環境方針	—	0
4.3.1 環境側面	事務事業の抽出漏れによる環境側面の特定漏れ等	4
4.3.2 法的及びその他の要求事項	家電リサイクル法の対象となる家電の特定漏れ等	5
4.3.3 目的・目標及び実施計画	環境影響評価表と年間計画書の不整合等	5
4.4.1 資源、役割、責任及び権限	—	0
4.4.2 力量、教育訓練及び自覚	指定管理施設への協力要請依頼の漏れ	1
4.4.3 コミュニケーション	—	0
4.4.4 文書類	—	0
4.4.5 文書管理	—	0
4.4.6 運用管理	—	0
4.4.7 緊急事態への準備及び対応	緊急事態試行記録の未作成	3
4.5.1 監視及び測定	実行計画管理表の未作成	3
4.5.2 順守評価	順守評価記録書の未作成	1
4.5.3 改善の機会並びに是正処置及び予防処置	—	0
4.5.4 記録の管理	—	0
4.5.5 内部監査	—	0
4.6 マネジメントレビュー	—	0
その他	—	0
合計		22

## (4) 主なシステム提案及び被監査課に対する改善の提案について

## ア 4.2 環境方針

環境モデル都市行動計画や 21' いいだ環境プランなど環境に関する計画が環境方針に盛り込まれているが、それらの計画と環境マネジメントシステムとの関連性が曖昧である。環境マネジメントシステムと各種の環境計画を関連付けて運用していくとわかりやすいシステムになるのではないかと。

## イ 4.3.1 環境側面

環境影響評価表を作成するにあたり、環境への影響が著しいと判断できるもの、あるいは重点管理が必要な事務事業についてのみ環境影響評価表を作成する方法に改めることで事務の軽減を図ることができるのではないかと。環境影響評価の方法について検討が必要である。

## ウ 4.4.2 力量、教育訓練及び自覚

今年度から環境マネジメントシステム上で初めてサイト管理者となる新任の課長等に対し、教育訓練として実務研修を実施した。今後もシステムの基本事項が理解できるようより充実した研修として継続していくとよい。

## エ 4.4.3 職員提案

職員提案制度については最近の提案実績がほとんどない実態があるので、提案が出るような仕掛けやしくみを工夫する必要がある。

## オ 4.4.7 緊急事態への準備及び対応

全課に共通する緊急事態として「公用車の燃料流出、車両火災」を想定し、緊急事態の試行を実施することになっているが、毎年同じような試行を繰り返している実態がある。燃料流出と車両火災への対応は「事務局」で統一的な対応手順を示すことで全課に周知する方法に変更したほうがよい。

## カ 4.5.1 監視及び測定

本庁内の燃料、電気使用量、ごみの排出量等の日常管理項目について、職員の関心を維持していくためにも、年度ごとの実績をグループウェア等で共有し、意識啓発につなげていくことが必要である。

## キ 4.5.5 内部監査

外部からの相互内部監査員が年々少なくなっていることから、今後、自己適合宣言を続けていくためにも、外部の監査員の充実が課題である。

## ク 4.6 マネジメントレビュー

年度末のマネジメントレビューで決定している重点監査事項を、次年度に重点的に取り組んでいく重点目標として位置づけ、各課の年間計画に反映していくようにしたらどうか。マネジメントレビューの内容が、各課の具体的な取り組み内容に反映されることが大切である。

◎上記の提案事項については、他のシステム提案とともに ISO 推進会議において対応を検討し、次年度のマニュアル改正に反映させていく。

## (5) 重点監査事項の監査結果について

## ア 平成 26 年度重点監査事項

①環境側面から「重点管理項目」、「日常管理項目」、「目指せエコな市役所」を特定するにあたり、環境影響や影響規模が適切に評価され、判定されているか。また、「重点管理項目」の目標は、監視測定可能な具体的な目標となっているか確認すること。

②環境マネジメントシステム運用上の知識の習得や環境意識の向上等のために、職員に対して行っている教育訓練（一般職員教育、自覚促進）の内容について確認すること。

## イ 重点監査事項①②に関する指摘等の件数

①：40 件（賞賛事項 13 件 是正を要する改善の機会（不適合） 3 件 気づき事項等 24 件）

②：31 件（賞賛事項 19 件 是正を要する改善の機会（不適合） 3 件 気づき事項等 9 件）

## ウ 主な指摘内容

## ① 重点監査事項①に関する指摘等

- ・ 4 月の機構改革に伴い事務分掌が変更になった部署については、環境側面の特定にあたり新たな事務分掌にもとづき環境影響評価が適切に行われていることが確認できた。
- ・ 目標の設定にあたっては、各課の事務事業を中心に目標が設定されており、今年度の重点管理項目は全体で 141 件、そのうち数値化して管理しているものは 120 件であった。各課の目標は概ね測定可能な具体的な目標を設定して取り組んでいることが確認できた。実施状況については第 1 四半期の段階で目標の達成率が全体で 65%となっており、年間目標の達成に向けて適切に取り組みが行われている。
- ・ 不適合の内容については、昨年度から新たに追加された施設、設備に対する環境側面の特定漏れを原因とするものが 2 件、環境影響評価の対象事業が曖昧なため、環境影響評価表と年間計画書との不整合が 1 件あった。（是正処置完了済み）。

## ② 重点監査事項②に関する指摘等

- ・ 自覚促進の取り組みとして、重点管理項目や日常管理項目、エコな市役所の取り組み項目の進捗状況を各担当者から四半期ごとに課会等の場で報告させ、課内の取り組み状況を職員間で共有できるようにしている部署があり、他の職場においても参考にするとよい取り組みである。
- ・ 不適合の内容については所管換えとなった施設の管理者に対し、市役所の環境マネジメントシステムの運用に関する協力要請が行われていなかったものが 1 件、環境マネジメントシステムの基本事項の教育訓練が十分ではないことが原因と思われる不適合が 2 件見られた。

## (6) その他

ア 2015 年に予定されている ISO14001 の規格改訂に合わせ情報収集に努めるとともに、地域ぐるみ環境 ISO 研究会と連携しながら規格改訂後のマネジメントシステムを構築するための準備を進めていく必要がある。

イ これまでの市役所における環境マネジメントシステムの実績を踏まえ、行政評価システムと環境マネジメントシステムの統合の可能性や、システム運用の簡素化について検討していくことが必要である。

ウ まちづくり委員会の中には「地域環境権」による再生可能エネルギーを活用した取り組みの計画が進められている地域もあり、今後、自治振興センターとまちづくり委員会との協働による取り組みに期待したい。

No.	章	被監査課	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容
1	1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	マニュアルの適用範囲の表現が分かりにくい。
2	2	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	ISO14001「自己適合宣言」で運用していることをマニュアル上に明記した方がよい。
3	4.3.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	「著しい環境側面一覧表」は、活用するのであれば有効に活用し、活用することがなければ、わざわざ内部監査のための資料として作成する必要はない。
4	4.3.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	環境影響評価書の区分が細かく、評価の際に負荷が大きいのと思われるので、簡略化してもよいのではないかと。
5	4.3.2	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	「法的及びその他の要求事項」で、「環境に関する法令、条例、例規の概要一覧」に関して、法改正等による変更確認のため、各課への照会を年1回は行い変更なしの場合も報告させるとともに、法改正分やそれ以外の順守が必要な項目について内部監査で確認できるようにチェック表を作成してはどうか。
6	4.3.2	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	「法的及びその他の要求事項一覧表」は必要か検討を。また、浄化槽法の「順守評価内容」欄の記載について、各サイトにおいてそれぞれの浄化槽ごとに正しく管理されているかの確認と記述を修正されたい。
7	4.3.3	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	各課等における「目標」が、環境方針からなのか、マネジメントレビューからなのか、法的及びその他の要求事項からなのか関係性が分からないので、何に基づいて導き出されたものかを明確に(明記)すべきである。
8	4.3.3	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	各課においてマンネリ化を防ぐためにも、その年によって重点的に取り組む事項というものを、マネジメントレビューなどから決めて取り組んではどうか。
9	4.3.3	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	「目的・目標一覧表」の活用や表作成の必要性について検討されたい。
10	4.4.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	飯田市役所の運用システムがISO14001 [JIS Q14001]:2004の規格要求事項を満たしているかどうかを規格チェックリストによりチェックすることをマニュアルに明記し、確認した方がよい。例えば、事務局で規格適合表リストを用意して、監査の中でチェックし、各チームの監査終了後に結果を提出してもらい、内部監査期間の途中に中間報告を受け、確認が漏れている項目番号があれば後半の監査チームに確認漏れの箇所を重点的に確認してもらいような仕組みにしてはどうか。
11	4.4.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	トップインタビューを公開により実施し、市長が公の場で発言しているので、2.1(1)で市長の役割として「トップインタビュー」を受けることについて適当な表現で明記すべきではないかと。
12	4.4.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	2.2環境管理責任者の役割で、(1)マニュアルの主管について「(第4.5.5章を除く)」とあるが、内部監査に関する内容を除いてよいと確認されたい。
13	4.4.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	2.2環境管理責任者の役割の中で、「法的及びその他の要求事項一覧表」などの「～の承認」となっているところは、それぞれの部長が承認したものを取りまとめているだけであるので「～の確認」などの表現に改められたい。
14	4.4.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	4.4.2の2、表4.4.2⑩の環境マネジメント研修の中に、環境管理責任者が承認するとあるが、4.4.1 2.2環境管理責任者の役割に入っていないので追加されたい。
15	4.4.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	内部監査時の部長の位置づけが曖昧である。部長のマネジメントが有効となるような内部監査の受検か、経営層としてとらえるか検討の余地がある。
16	4.4.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	マニュアルの2.10(1)で、「飯田市役所の環境マネジメントシステムがISO14001の要求事項を満たしていることを…ISO推進会議にて確認」について「することができる」規定となっているので、(2)も含めて、「実施する」べきものと、「実施することができる」ものを分けて記述する必要がある。
17	4.4.2	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	ISO19011の内部監査の指針を教育訓練等に活用されたい。「2.内容及び実施区分」の表442-2)の中で、物品購入・業務委託先にも、飯田市のメッセージを伝えるためにもうまく活用すると良いのでは。
18	4.4.2	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	「法令が要求する有資格者一覧表」について、内容が「資格」の一覧表になっている。具体的な名前が入らないと意味がないが、どうするか検討・整理を。
19	4.4.3	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	職員提案制度について、最近提案がほとんど出なくなっていることから、出しやすくするための工夫が必要である。
20	4.4.3	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	4.3(1)本庁舎等とところで、本庁舎の庁舎管理担当部署である総務文書課長、総務部長が出てこないため整理が必要。(りんご庁舎、自治振興センターはその施設の管理責任者が入っている。)
21	4.4.7	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	各課の緊急事態試行訓練において、定められた様式を確実に使ってもらうことと、提出の有無や、「緊急事態等の特定の一覧表」に特定されているものが確実に実行されているかを提出の一覧表をつくるなどして把握されたい。
22	4.4.7	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	緊急事態の試行について、手順通りにやっても問題があったかどうか、違ったところがなかったかどうか手順書に不備があったかどうか本来手順書に記載されているべきものがないかの検証になっていない。そうなるために、記録は簡単にして手順書の内容について問題がないかをチェックできるものにすべき。
23	4.5.1	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	測定機器の校正について、各課が確実に実行しているかチェックできる仕組みが必要。
24	4.5.5	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	相互内部監査員が年々少なくなってきたことから、審査員養成研修機関のオンライントレーニングを実地する場所として、飯田市の内部監査の場を提供できるか検討したり、環境審査員の登録機関である産業環境管理協会のウェブサイトにある相互監査募集ページに掲載して募集するなどして、参加者が増える工夫・検討をしてはどうか。
25	4.5.5	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	2. 内部監査の対象として、環境管理責任者(事務局)監査と、部課の監査を同列に扱うのは無理があるのでは。また、別様式の自己チェック表を作成してはどうか。
26	4.5.5	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	4.2内部監査チームの編成において、最終処分場や、下水浄化センター等においては、「技術専門家」または、専門的な知識を持った相互内部監査員の活用をされたい。
27	4.6	環責・事務局	環責・事務局に対する改善の提案	マネジメントレビューから次年度の取組みに反映できるように仕組みづくりを。コスト削減のため、システムの仕組みをシンプルにされたい。PDCA(市全体、各課、係、個人)を回していくような意識付けを実践していただきたい。
28	創意工夫	総務部長	賞賛事項	同じフロアに同居する総務文書課、庁舎整備推進課、ムスまちづくり推進課が協力して、オフィス西側の窓に、キュウリ、トマトによるグリーンカーテンの設置によりエコオフィスに取り組んでいること。
29	創意工夫	総務部長	賞賛事項	現在建設中の新庁舎における内装部分、腰壁部分、カウンター、天井、床(フローリング)、オフィス家具類等について、防火上の制限がある中で、最大限、飯田産の間伐材の木材活用を図っており、CO2の固定、CO2吸収源対策としての森林整備にもつながるとともに、木材輸送時のCO2削減にも貢献しており、賞賛に値する。
30	その他	総務部長	その他 特記事項	飯田市として、自己適合宣言から一歩踏み出した取り組みをする時期に来ている。

No.	章	被監査課	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容
31	4.3.1	総務文書課	賞賛事項	機構改革に伴いサイト(課統合)拡大に対応した環境影響評価が適切に整理ができている。
32	4.3.3	総務文書課	システム提案	環境影響評価において「車両管理」のうちガソリン消費を「判定結果で重点管理」としている、多くの車両が燃費が悪く、かつ年式が古く走行距離が数十万キロにある。運転者の安全の上からも計画的にハイブリッド車等を購入していく事を検討すべき。
33	4.5.1	総務文書課	システム提案	燃料、電気使用量の増加を複数年の統計(内容分析)で示し、全庁的に削減への協力を要請されたい。
34	パフォーマンス	総務文書課	賞賛事項	文書のファイル化による整理、及び事務所内の書棚の整理によって働く場の環境改善がなされた。
35	パフォーマンス	総務文書課	賞賛事項	車での来庁者に、アイドリングストップの呼びかけ(警備員)をし、環境への協力を得ている。
36	4.3.1	庁舎整備推進課	気づき事項	様式431-1 一般業務(2/3)①定常時の環境影響評価表の「グリーンカーテンの実施」に関する「影響規模」区分欄の記載が漏れている。
37	4.3.2	庁舎整備推進課	気づき事項	様式431-3庁舎整備事業(計画、設計、工事)①定常時の環境影響評価表(事務事業関連表)では、「歴史文化財の保全対策」の環境側面に対して「文化財保護法」が関連法令として記載されていましたが、様式432-3「法的及びその他の要求事項一覧(事務事業関連表)」に「文化財保護法」に関する記述がありませんでした。文化財保護法に基づく「記録保存のための発掘調査」は、既にきちんと実施されていますので、様式432-3に「文化財保護法」に該当する事項を記載するとともに、様式452-1に順守評価の記録をしてください。
38	4.3.3	庁舎整備推進課	賞賛事項	新庁舎建設という大規模事業を進めるに当たり、地域住民の理解を得ながら騒音発生や工事関係車両の通行による周辺環境への影響を極力抑制するように努めています。また、地域産木材の利用、太陽光パネル設置など国の「グリーン庁舎基準」に基づく省エネ型及び自然材料活用型の庁舎整備が進められています。
39	4.3.3	庁舎整備推進課	気づき事項	様式433-1 年間計画書の「順守評価」について、年間スケジュールの記載が漏れている。
40	4.4.2	庁舎整備推進課	賞賛事項	庁舎整備の設計方針自体が「環境配慮」であることから、工事関係者に対して地元から寄せられた環境配慮事項への協力要請やISO教育訓練を実施しながら、全国的な職人不足による工事の遅延を克服して工期内完成をめざして取り組んでいます。
41	4.3.1	人事課	賞賛事項	事務事業から環境を考えるという視点においては、南アルプスのジオパークや自然遺産等といった具体的な項目にも触れながら、環境というテーマを前面に出して職員研修計画を策定していること等、しっかりした取り組みがされている。
42	4.5.5	人事課	その他特記事項	課だけの判断では気づかない点について、課外部からの指摘により改善できるという点において、内部監査は有意義なものである。
43	パフォーマンス	人事課	賞賛事項	給与明細書のデータ化・メール送信、及び人事課への申請提出書類の書式変更等の取り組みにより、紙使用量の削減を徹底して推進している。
44	4.3.1	財政課	賞賛事項	財政事務は環境影響面においても全庁的な影響力が極めて大きいと言え、それをしっかりと意識して、予算編成や契約事務など他課への影響を踏まえて取り組んでいる。
45	4.3.1 4.5.5	財政課	システム提案	ISOシステムの運用管理(内部監査)は、書類不備の指摘など事務的事項に偏ると、形骸化する。真に環境配慮型の市政運営にするためには「何に、どのように取り組むのか」という本質的な検討とPDCAが必要である。例えば、公共事業や委託事業における真の環境配慮、地震(大規模災害)時の対処、法令順守など、「〇〇課として、担当〇〇として、環境方針に基づき何をすべきか・何ができるか」に主軸を置くような方法に改めたらどうか。
46	4.4.7	財政課	システム提案	緊急事態(油漏れ)の試行・記録は、一般的な事務職場においては統一的な手順書により周知徹底するように改め、形式的な試行等は取りやめたらどうか。
47	4.3.1 4.3.3	税務課	気づき事項	「職員のエコ通勤推進」が重点管理項目になっているが、この取組みは人事課の手順書に基づき全課で取組んでいる一般的な事項である。次年度の環境影響評価においては、日常管理項目になっている「市賦課業務」のような税務課が所管する事務事業から重点管理項目を導き出すことを検討してみたらどうか。
48	4.4.1	税務課	システム提案	EMSの推進には、トップである市長のリーダーシップが重要であるが、それを補完する役割を担う部長層の権限と責任をより強化してはどうか。
49	4.4.2	税務課	システム提案	新任職員に対しては、プリセプター職員からISOの基本的事項の説明を着任当初に行うことを制度化してはどうか。
50	4.4.3	税務課	システム提案	職員提案制度をより機能させるために、事務局で提案内容の例示を示すこと、課単位でも日常提案できるようにシステム改善を加えてはどうか。
51	4.4.7	税務課	システム提案	事故防止とガソリン消費量の削減の観点から、新規登録から相当年数を経経した、又は、総走行距離が極端に長い公用車の廃棄、更新基準を設け、環境配慮型車両への更新を進めるべき。
52	4.5.4	税務課	システム提案	文書管理適正化事業に対応したISO文書の管理基準(特に第1、第2ガイド及び個別フォルダの区分基準)を事務局で示してほしい。
53	パフォーマンス	税務課	賞賛事項	税務課は、税に関する調査、評価業務等で公用自動車で管内出張する頻度が高い職場であるが、ガソリン消費量を減らすため、「訪問先には必ず事前連絡をとることで無駄な出張(訪問したが留守のケース)をなくすこと」、「同方面に用事がある複数職員がまとめて出張することで出張回数を減らすこと」を励行している。数値として見えにくい、負の環境影響を低減する効果が高い取組みであり賞賛する。
54	4.3.3	納税課	賞賛事項	電気使用量削減のため残業時間を意識的に減らす取り組みを実践しており、毎年確実に減少している。一方、残業時間を減らしながらも事務改善の徹底を図るなど工夫した取り組みにより、収納率が引き続き県下19市中トップを維持していることは賞賛に値する。
55	4.4.2	納税課	賞賛事項	重点監査事項でもある教育訓練については、毎月複数回実施されており、課長判断により重要と判断した環境情報をその都度職員に周知するなど確実に実施されていることは賞賛できる。
56	その他	総合政策部長	システム提案	兼ねてからの懸案事項ですが、市政策の企画・調整を担当する部として、環境ISO、行政評価、人事評価等複数のマネジメントシステムが互いに相乗的に関係し合うような両立、統合に向けた検討をぜひ進めてください。
57	パフォーマンス	総合政策部長	賞賛事項	所属する企画課、総務文書課(H26年度組織機構改革により総務部へ)、男女共同参画課(同じくH26年度より市民協働環境部へ)において、新たな文書管理システムのモデルの課として公文書の一元管理と文書量の削減に取り組んだことで、5S等、職員の環境意識の改善が認められます。
58	4.3.3	企画課	気づき事項	年間計画書のスケジュールに、緊急事態施行訓練(9月に予定)と一般職員自覚促進訓練(11月に予定)の予定月の〇印が漏れていたため、加筆されたい。
59	4.4.2	企画課	被監査課に対する改善の提案	年間計画では、4月に予定されていた一般職員教育が7月に実施されているが、マニュアルに基づき5月までに実施されたい。
60	4.4.6	企画課	賞賛事項	ノーマイカーの実施率が40%を超える月があるなど、積極的な取り組みが行われている。
61	4.4.7	企画課	是正処置を要する改善の機会(不適合)	平成25年度に行われた緊急事態試行訓練の記録が作成されていなかったため、マニュアルに基づき作成されたい。
62	4.5.1	企画課	是正処置を要する改善の機会(不適合)	重点管理項目の実行計画管理表の4～6月分の評価記録が作成されていなかったため、期限までに作成されたい。
63	その他	リニア推進部長	賞賛事項	リニア推進に関わり、残土処理エリアのコンパクト化を課題とされており、本来業務としての環境負荷低減を進めようとする姿勢が認められます。

No.	章	被監査課	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容
64	4.3.1	リニア推進課	被監査課に対する改善の提案	環境影響評価表(様式431-3)について、環境方針の基本理念である「リニア時代を見据えた21世紀型戦略的地域づくりの推進」及び基本方針である「公共交通の利用促進を図り、エコでにぎわいのあるまちづくり」等に直接関連する本来の事務事業について評価し、意義・意味等を考慮して環境側面を特定することをお勧めします。
65	4.3.1	リニア推進課	気づき事項	環境影響評価表の環境影響(結果)への記載漏れ及び同表の判定結果についての誤記がありましたので、正しく記載してください。
66	4.3.3	リニア推進課	是正処置を要する改善の機会(不適合)	重点管理項目「職員のノーマイカー通勤の推進」における目標は前年度の達成状況及び上4半期の結果から判断してかなり低い数値目標となっていることから、実績を踏まえて見直す必要があります。
67	4.3.3	リニア推進課	気づき事項	年間計画書の重点管理項目欄の目的が「第1次飯田市地球温暖化防止実行計画の推進」と記載されておりますが「第2次・・・」と正しく記載してください。
68	4.5.1	リニア推進課	是正処置を要する改善の機会(不適合)	前年度監査後の実行計画管理表(重点管理項目用)における進捗状況入力、課長承認、部長承認、コメント欄に未実施があるので、マニュアルにしたがって実施する必要があります。
69	4.5.1	リニア推進課	その他特記事項	実行計画管理表(重点管理)がsharaへ未登録です。
70	4.5.5	リニア推進課	賞賛事項	定めた取り組みを室内に掲示し、職員全員の意識共有に努めており職員に対する自覚促進ができています。
71	4.5.5	リニア推進課	その他特記事項	自己チェック票の提出が遅れ、終了会議で提出されました。
72	4.4.2	市民協働環境部	賞賛事項	「再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」による分権型エネルギー自治に向け、市民協働環境部として、各地区の特色ある取り組みを積極的に受け止め、部の6課の朝礼に順に出向き、環境に関するメッセージを職員に発し、教育訓練を行っている。
73	4.4.2	市民協働環境部	賞賛事項	市民協働環境部の6課の課長のうち、新任課長が4人であるという状況を鑑み、実施者として、課長教育を年間3回以上計画し、環境施策におけるレベルアップを図るための教育訓練に取り組んでいる。
74	4.3.2	ムトスマちづくり推進課	システム提案	環境影響評価における「関連法令の扱い」と「法的要求事項の扱い」について考え方を整理すべきである。
75	4.3.3	ムトスマちづくり推進課	賞賛事項	市内20地区で実施する市政懇談会の資料を作成するにあたり、「地域環境権」について再エネ、地域貢献について課全体で議論を深めた。
76	4.4.2	ムトスマちづくり推進課	賞賛事項	「ムトス活動・地域コミュニティー活動支援」を重点管理項目としてとらえ、地区NPOからの活力ある地域づくりの提案についてヒアリング時に環境への配慮について協働で検討している。
77	4.4.2	ムトスマちづくり推進課	被監査課に対する改善の提案	関連団体等への協力要請は、運用管理との関連で、各課で「該当課」として「その他該当課で必要と認める受託業者」の判断を行うこととなっています。委託事業も多く、関わり的大きいシルバー人材センターに対して、協力要請がなされていません。「環境対応への育成」の意味も込み、協力要請をしてはいかがでしょうか。
78	4.3.3	座光寺自治振興センター	賞賛事項	麻績の里舞台桜の小学生による「子ども桜ガイド」等の取り組みは、多様な主体の協働が地域における環境保全意識の醸成に大きく寄与している。 リニア駅を見据えて「リニア対策特別委員会」を設立し、住民が主体となって基本方針を作り上げているが、そこに職員が加わり共に地域づくりを進めている。
79	4.3.1	松尾自治振興センター	賞賛事項	団体活動支援事業の業務で廃棄物の抑制、環境意識の向上の取り組みとして、地域住民と協働して、エコキャップ運動に取り組み専用回収ボックスを設置し、分別意識の向上、資源の再利用、売却金でのワクチン寄贈団体へ寄付と環境活動に積極的に取り組まれ成果を上げられている。
80	4.5.1	松尾自治振興センター	その他特記事項	測定機器の特定・校正において、自己チェック票と年間計画書の記載の相違が見受けられたので整合を図りたい。
81	4.3.1	下久堅自治振興センター	被監査課に対する改善の提案	②地域住民との協働し「桜の里づくり事業」を実施しており、環境にも良い影響を与えているとのことですが、管理項目になっていないため評価できません。素晴らしい取り組みなので、ぜひ管理項目とすることを提案します。
82	4.3.1 4.3.3	下久堅自治振興センター	賞賛事項	地域住民と一体となり環境美化活動を実施している。特に春のごみゼロ運動では地区民752人(うち児童67人)が参加しており、昨年度よりも増加し、地域ぐるみでの活動として取組みが進んでいることがうかがえる。また、天龍川流域地域ということで地区全体での河川美化活動も継続実施されており賞賛する。
83	4.3.2 4.5.2	下久堅自治振興センター	是正処置を要する改善の機会(不適合)	法的その他の要求事項として、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」及び「使用済み自動車の再資源化等に関する法律」が該当となるが、該当無となっている。これに伴い順守評価記録書にも記載がないため、適切に記載する必要がある。さらに、順守評価記録書において複数の法的要求をまとめて記載している例があったので、一対一対応となるよう修正する必要がある。
84	4.3.3	下久堅自治振興センター	被監査課に対する改善の提案	①事務事業で「公民館事業」が特定されているが、個別事業ではなく総体を特定してあるので、結果として目標も評価が難しいものとなっています。具体的な事務事業を特定し、目標を設定することを提案します。
85	4.3.3	下久堅自治振興センター	被監査課に対する改善の提案	③重点管理項目のうち、環境美化活動の目標設定について分かりやすい表現とすることを提案します。
86	パフォーマンス	上久堅自治振興センター	賞賛事項	公民館が耐震改修工事のため自治振興センターを中心とした審査となりましたが、事務室については「エコな市役所」を目指した取り組みとして、蛍光灯を半分に間引くなどの工夫が見られました。 団体事務など、地域との協働事業を行う自治振興センターとして、地域とともにごみ分別、意識啓発等の環境対策に積極的に取り組んでいます。引き続き取り組みをお願いします。
87	パフォーマンス	上久堅自治振興センター	気づき事項	ごみ分別について周知活動を行っているものの、ごみ組成調査の結果は埋め立てごみは20地区中19位、燃やすごみは10地区中10位と低位にあります。地区が抱えた構造的な原因を究明するとともに、原因が高齢化に伴うものである場合は、それに対応した対策が今後必要になってくると思います。 公民館を改装工事中ですが、以前に比べて環境に配慮した事項が見当たりません。アピールできるようにしてください。
88	4.3.1	千代自治振興センター	賞賛事項	千代公民館、千代自治振興センターの新しい建物について、太陽光発電、雨水タンク、LED照明、人感センサーによる照明など環境に配慮した建物となっている、地域住民に次世代のモデル建物として環境への配慮をアピールしており、環境意識の向上に繋がっている。
89	4.3.1 4.3.2 4.3.3 4.5.1 4.5.2	千代自治振興センター	是正処置を要する改善の機会(不適合)	環境影響評価の事務・事業内容の「自然エネルギーの活用」について、環境側面が具体的に特定されていません。原因を明らかにし、環境影響及び環境規模の見直しを行い、重点管理として目的・目標の設定～実行～評価を行う必要があります。 また、環境影響評価で特定した関連法令については、法令その他の要求事項一覧に追加し、順守評価する必要があります。
90	4.3.3	龍江自治振興センター	賞賛事項	水辺の楽校や桜街道などの地域資源の整備を行うと共に資源を活かした学習会を多く開催しており、地域全体で環境意識の向上が図られている。
91	4.5.2	龍江自治振興センター	気づき事項	灯油タンクの管理に不適切な部分が所見されました。関係法令等に則り適切に管理してください。
92	4.3.1	竜丘自治振興センター	是正処置を要する改善の機会(不適合)	環境影響評価表で施設管理における家電の廃棄及び車両管理の廃棄に関する環境側面の抽出が行われていません。非定常時の環境影響評価として環境側面の抽出が必要です。
93	4.3.3	竜丘自治振興センター	被監査課に対する改善の提案	環境影響評価における事務事業と年間計画書の事務事業を一対一対応とすることで、より、PDCAサイクルが明確になると考えられます。

No.	章	被監査課	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容
94	パフォーマンス	竜丘自治振興センター	賞賛事項	地域住民との協働で環境に良い影響のある事業を数多く継続実施しており、今年度はさらに一歩進んで、環境方針に沿って竜丘地区全体で地域環境権の行使に向けた取組みを計画していることを賞賛します。
95	4.3.1	川路自治振興センター	気づき事項	一般事務における「ガソリンの消費」が、環境影響評価でエコな市役所に特定されていたが、錯誤であるため記述を訂正されたい。
96	4.3.1	川路自治振興センター	気づき事項	自治及びコミュニティ振興業務の「薪ストーブの使用」における環境側面(原因)の記述について、訂正をされたい。
97	4.3.3	川路自治振興センター	是正処置を要する改善の機会(不適合)	一般業務における「紙の消費」と「電気の消費」について、環境影響評価で日常管理項目に特定されているが、年間計画書に記載されていないため、日常管理項目として計画書に盛り込み、進捗状況の管理を行って下さい。
98	4.3.3	川路自治振興センター	是正処置を要する改善の機会(不適合)	上記に伴い、自治及びコミュニティ振興業務において、エコな市役所として特定した「施設屋上の遮光」と「施設の緑化」は、日常管理項目「電気の消費」の実施項目として計画書に盛り込み、進捗状況の管理を行って下さい。
99	4.3.3	川路自治振興センター	その他特記事項	重点管理項目の目標及び実施項目は、監視測定可能な具体的な目標となるよう、来年度に向け、センター内で検討願います。
100	4.4.2	川路自治振興センター	システム提案	ISO上の新人課長に対する教育訓練について、システム運用上の詳細な内容や課長が把握し実施すべき事項等についての実務研修を実施してほしい。
101	4.4.7	川路自治振興センター	被監査課に対する改善の提案	緊急事態試行において、火災訓練と同様、灯油タンクと公用車の燃料流出等も実施されていれば試行記録を作成することと、公用車に係る試行訓練は、できるだけ年度当初に実施されることを提案します。
102	創意工夫	川路自治振興センター	賞賛事項	本年5月、自治振興センターの屋根に遮光シートを設置し、夏期の室温上昇を抑制することにより電気使用量の削減を図る取組みを行った。
103	4.3.1	三徳自治振興センター	賞賛事項	各種団体支援業務の業務で環境教育の意識向上、意識啓発の取り組みとして、温暖化啓発挿入文例を16文例作成して、職員が通知文書や資料等への掲載を積極的に取り組み環境意識向上に取り組まれている。
104	4.3.1	三徳自治振興センター	賞賛事項	地域住民と協働して、会議等における資料の重複配布をなくすため、手持ち資料の持参を行っている。
105	4.4.2	三徳自治振興センター	気づき事項	一般職員自覚促進教育が年間計画書に10月実施予定となっています。要求項目の達成の役割と責任等の共有確認することから、早めの取り組みで効果の上がる訓練としてください。
106	4.4.6	山本自治振興センター	賞賛事項	維持管理項目等の管理項目手順書を独自に作成し、全職員の環境マネジメント活動への取り組みの意識統一が図られており、さらに日常管理項目として電気使用の削減に対する節電対策の計画書も詳細に分担等が整理された運用がなされており、他部署の模範となりえる内容であり、節電等に効果を上げている。
107	その他	山本自治振興センター	その他特記事項	山本地域づくり委員会の団体支援活動の業務にあたり、地域の環境意識の向上の観点も併せて、太陽光発電設備設置による地域の再生可能エネルギーの推進活動の取り組みが進められており期待される。
108	4.3.3	伊賀良自治振興センター	気づき事項	一般職員自覚促進教育が年間計画書から漏れていたため、年間計画書の実施月に○を付け、自覚促進の教育を実施してください。
109	4.4.7	伊賀良自治振興センター	是正処置を要する改善の機会(不適合)	緊急事態試行は、定期的に年1回以上、適切な時期に緊急時手順及び該当課手順に基づき緊急事態の試行を実施し記録することになっています。昨年度、緊急事態訓練を実施していましたが、緊急事態試行記録の作成が見られなかったため、本年度は実施後に確実に記録の作成保管すること。
110	その他	伊賀良自治振興センター	賞賛事項	国や県などの行政機関への住民からの地域課題や要望事項に対してもセンターとして対応されており、かつ関係機関へ報告連絡もされている。
111	パフォーマンス	伊賀良自治振興センター	賞賛事項	ごみのポイ捨て防止標語を小中学生、一般から募集し地域を巻き込んだ活動をされており、また標語を各種通知により周知されるなど環境への意識向上に努められている。
112	4.3.1	鼎自治振興センター	気づき事項	年間計画書の作成日は、環境影響評価実施後の日付とするなど書類作成上の整備が必要と思います。
113	4.3.3	鼎自治振興センター	賞賛事項	地区内の通知文書に、高齢者クラブが作成した封筒を利用しており、地域と協働した資源のリサイクルに関心を持つ取り組みとなっている。
114	4.3.3	鼎自治振興センター	被監査課に対する改善の提案	手作り封筒の利用や通知による環境啓発の目標設定は、発送数によるのではなく、利用割合にしたいかがでしょうか。
115	4.4.6	鼎自治振興センター	賞賛事項	サイト内のシルバー人材センターやサービスセンターへ協力を要請し、ごみ分別に取り組むとともに、三者協働による地震防災訓練を行うなど緊急事態への対応による施設管理に効果を上げている。
116	4.4.7	鼎自治振興センター	被監査課に対する改善の提案	公用車の緊急事態試行については、上半期に実施されるよう提案します。
117	4.5.1	鼎自治振興センター	是正処置を要する改善の機会(不適合)	課長は、半期終了時に実行計画管理表を印刷し、部長の承認印を押印して保管することと規定されていますが、部長へ報告した記録が整備されていないので、半期のデータ入力後に文書を印刷して報告し保管が必要となります。
118	4.5.1	鼎自治振興センター	気づき事項	昼食容器の記録等、個々のチェックシートによる記録が紙ベースでなされていますが、紙の消費削減の観点から、個々の実施記録はデータで管理し、月ごとの集計記録のみ紙ベースとされればよいのではないかと。
119	4.5.2	鼎自治振興センター	是正処置を要する改善の機会(不適合)	廃棄物管理手順において、3か月ごとに順守評価することとされ、順守評価記録書に記載し部長に報告するよう規定されていますが、根拠書類が未整備で部長への報告と承認がされてなく、順守評価記録書が未整備ですので、評価にあわせて部長への報告と記録書の整備が必要となります。
120	4.5.5	鼎自治振興センター	システム提案	環境マネジメントシステムの内部監査事務について、隔年実施等の業務の簡素化を進められたい。
121	4.4.5	上郷自治振興センター	賞賛事項	H26.4月から上郷地域まちづくり委員会が野底山森林公園の指定管理者の指定を受け、リニア時代を見据えた郷づくりに向けて、職員と市民との協働による豊かな自然環境の保全とふれあいに向けた取り組みの再スタートを切ることができた。土地利用計画ともリンクした上郷地域基本構想の策定に向け、生活環境分野では重点管理項目として進行管理を行いながら職員と市民との協働による検討を推進し、H26.4月に承認を得ることができた。
122	4.4.7	上郷自治振興センター	被監査課に対する改善の提案	環境影響評価において緊急時に特定されている車両運転に係る燃料流出及び車両火災に対する試行訓練は、年度当初の早期に実施してください。(H25年度は、12月に実施)
123	4.5.5	上郷自治振興センター	被監査課に対する改善の提案	「環境方針」では「環境をすべての政策の基本に置く」となっている。市役所の事務事業評価など複数のマネジメントシステムとISOのマネジメントシステムでは類似する部分も多いことから、統合マネジメントシステムの運用について研究していただくよう提案します。
124	4.5.5	上郷自治振興センター	その他特記事項	ISO事務局でまとめた「飯田市…各部課報告書の集約【平成25年度】」中の「項目」部分が、被監査課で保管されている内部監査報告書の内容と相違していたため、検証願いたい。(気づき事項とシステム提案が、改善の機会として表記されていた。)
125	4.3.1	上村自治振興センター	気づき事項	グリーンカーテン、朝礼での日常チェック体制等、多くの環境配慮の取り組みを行っていますが、環境影響評価の特定されていませんので、環境側面から「エコな市役所」を特定されることを勧めます。
126	4.4.2	上村自治振興センター	気づき事項	職員教育訓練記録については、訓練内容資料を添付し、職員が誰でも確認できる情報の共有化をされると良いと思われれます。
127	その他	上村自治振興センター	賞賛事項	「地域環境権」に基づき、小水力発電事業推進を住民の再生可能エネルギー事業として地域住民と共に取り組んでいることは、地域内だけでなく市全体でも注目されており、重点管理項目として捉える中で、着実に研究が進められていることを賞賛いたします。



No.	章	被監査課	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容
128	4.3.1 4.3.3	南信濃自治振興センター	賞賛事項	地域住民と一体となり環境学習を推進している。特に地域に特有な活動として、ブッポウソウの巣箱かけ事業に継続的に取り組んでいる。
129	4.3.1 4.3.3	南信濃自治振興センター	是正処置を要する改善の機会(不適合)	環境影響評価で対象とする事業が個別事業となっていないため、環境側面の特定も大きくとなり、結果として年間計画書における目標設定も数値化可能な具体的な目標となっていないので改善されたい。事業の特定～環境影響評価(環境側面の評価)～重点管理項目等の決定～目的・目標の設定～実行～評価という一連の流れを再確認し、マニュアルに沿った運用をする必要がある。
130	4.4.6	男女共同参画課	賞賛事項	排出ごみ分別方法の徹底について、管理しているりんご庁舎に配置されている保健福祉部の各課や関係団体に対して、毎年度当初に通知により周知し定着されており評価できる。
131	4.4.6	男女共同参画課	賞賛事項	広い施設内の照明や空調管理のこまめな取組が職員全体に定着しており、省エネ意識が徹底されており評価できる。
132	その他	男女共同参画課	その他特記事項	平成27年から男女共同参画課が本庁へ移転するため、りんご庁舎の管理が他の部局所管となるが、環境に配慮したこれまでの取組を継続していくことができるよう適切な引継ぎに努めてほしい。
133	創意工夫	市民課	賞賛事項	ISOやクールビズのポスターを環境モデル都市推進課と共に作成して窓口(職場内)へ貼って市民に啓蒙しており、来庁者に環境への意識向上が十分に図られると共に、環境に対する取り組み状況が広く市民に理解されるよう努めている。(来庁者:述べ35,000人/年)
134	4.3.3	環境課	被監査課に対する改善の提案	重点管理項目の目標は、その到達度を「見える化」するためにも数値目標等をできる限り具体的に示す必要があります。組成調査結果の活用などを検討いただき、目標を数値化するよう提案します。
135	4.5.2	環境課	気づき事項	順守評価の根拠として、結果を確認できる書類を添付してください。
136	その他	環境課	賞賛事項	ごみの適正処理啓発市民ボランティアは、市民の環境保全意識の向上を啓発し定着させていくうえで行政と市民が協働した大切な取り組みとして進められており、賞賛に値します。
137	その他	環境課	システム提案	現在市役所で取り組んでいる事務事業評価や行政改革など複数のマネジメントシステムとISOのマネジメントシステムでは共通する部分も多く、環境をすべての政策の基本に置くことから、統合した1つのマネジメントシステムの運用の検討を提案します。
138	その他	環境課	その他特記事項	略称「ボイ捨て等防止市民条例」を市民と共に作り上げ、市政の柱の1つである「環境保全」に関する市民と一体となった取り組みが具体的にスタートしました。さらに市民の意識向上が進められるよう期待します。
139	4.4.2	最終処分場	賞賛事項	月2回(第1・3火曜日)行う職員会に於いて、ISO教育訓練を行い苦情や課題などの諸問題を最終処分場の職員全員が、同じ目線で共有できている。
140	その他	最終処分場	その他特記事項	社会見学を行う企業や学校が減少しているとの事なので、関係部課と協議を行い、特に小学生から分別の必要性・重要性などの環境学習に力を入れていただきたい。
141	4.3.1 4.3.2 4.5.1	環境モデル都市推進課	是正処置を要する改善の機会(不適合)	「文化財保護法」が環境影響評価表(様式431-2)で、「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」が環境影響評価表(様式431-3)で、また、法的及びその他の要求事項一覧(様式432-1・432-2)でも、特定できていません。新規の事業を実施するときの環境影響評価や毎月実施することとなっている法令調査において確実に法令が特定できるようシステム運用を行ってください。
142	4.3.1 4.5.1	環境モデル都市推進課	賞賛事項	各課からの実施計画管理表(様式451-1重点管理項目用)による報告を集計し、90%以上の達成率を目標値とする新たに課の重点管理項目に設定し、市役所全体の環境マネジメントシステムの進捗管理に取り組んでいる。
143	4.4.2	環境モデル都市推進課	是正処置を要する改善の機会(不適合)	関連団体・物品購入先・供給者への協力要請をすることになっていますが、エコハウスの運営に深く関わるNPO法人南信州おひさま進歩への協力要請ができていません。環境施策を推進する課として対象を限定的にとらえず、広くとらえ、対応してください。
144	4.4.6	環境モデル都市推進課	システム提案	年間計画書(様式433-1)の様式を変更し、年度当初の計画段階での策定に使用するだけでなく、毎月または4半期ごとの進捗管理に利用する。
145	4.4.6	健康福祉部長	賞賛事項	所属の職員が500人を超える中、部全体としてマイボトル、マイ箸に取組まれているほか、それぞれの部署で本来業務に即した以下のような環境改善活動に取り組まれている。 保育園では「一日保育体験」での城産域消の取り組み。保健課は、緑のカーテン、「健康づくり家庭訪問」時にチラシ配布でなく、IPADを使用しその場で現場映像による健康づくりPR。長寿支援課は社会福祉協議会と協働した介護予防教室の開催。福祉課では部内へのマイボトル、マイ箸推進のためのポスターの作成。
146	4.3.1	福祉課	システム提案	非定常時の施設管理において家電の廃棄及び車両管理の廃棄に関する環境側面の抽出については、多くの部署が関係していることから、水平展開事項として取り扱うか検討願います。
147	4.3.1	福祉課	気づき事項	環境影響評価表に「目指せエコな市役所」として、環境側面特定の記載がありません。記載するとともに年間計画書と整合を図ってください。
148	4.3.3	福祉課	被監査課に対する改善の提案	重点管理項目の目的の設定にあたっては、目標の数的根拠を明らかにする必要があります。
149	4.3.3	福祉課	気づき事項	年間計画書の記載漏れが散見されます。一般教育訓練及び緊急事態試行並びに順守評価は、必ず年間スケジュールに記載してください。
150	4.4.2	福祉課	賞賛事項	教育訓練の機会では、ISO14001の基本である、システムの構築と文書化の関係性について「PDCAの過程において、誰が何をすべきか」まで踏み込んで、独自の教材を用いて知識の習得につなげていることは賞賛に値します。
151	4.3.1	子育て支援課	被監査課に対する改善の提案	環境影響評価において、自動車及び特定家電製品の非定常時(廃棄時)における環境側面の抽出が必要です。
152	4.4.1	子育て支援課	気づき事項	一般職員教育は課長が実施することになっているので、教育訓練記録の「実施者」も課長とする必要があります。
153	4.5.1	子育て支援課	被監査課に対する改善の提案	1日保育体験アンケートの満足度目標設定が曖昧です。根拠のある数字とするとともに、アンケート項目に環境教育に対する満足度が判定できる項目を加える必要があります。
154	パフォーマンス	子育て支援課	賞賛事項	事務事業と関連付けた「地元食材の日」実施による地元食材の城産域消は、地域の資源を活用した環境へのアプローチとなっており、園児や保護者を通じた環境意識の向上と発信へと繋がっている。また、太陽光発電と組み合わせ、保育園の環境教育を進めながら、環境に対する関心度を高めようとしている取り組みを評価します。
155	4.3.1	長寿支援課	システム提案	非定常時の施設管理において家電の廃棄及び車両管理の廃棄に関する環境側面の抽出については、多くの部署が関係していることから、水平展開事項として取り扱うか検討願います。

No.	章	被監査課	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容
156	4.3.2	長寿支援課	是正処置を要する改善の機会(不適合)	重点監査事項に基づき、改めて事務事業の洗い出しを行うとともに、環境側面の特定に応じて、関係法令を設定し直す必要があります。なお、指定管理者制度に基づく各施設については、事前に現場職員と検討を行ったうえで、環境側面を特定してください。
157	4.3.2	長寿支援課	被監査課に対する改善の提案	非定常時の施設管理において、家電の廃棄及び車両管理の廃棄に関する環境側面の抽出が必要です。
158	4.3.3	長寿支援課	被監査課に対する改善の提案	重点管理項目の目的が抽象的です。具体的な目的に基づき目標の数的根拠を明らかにする必要があります。
159	4.3.3	長寿支援課	気づき事項	年間計画表の記載漏れが散見されます。特に、緊急事態試行と順序評価については、必ず年間スケジュールを記載してください。
160	4.4.7	長寿支援課	被監査課に対する改善の提案	緊急事態試行については、評価記録が必要となります。防災訓練結果を評価し、今後のPDCAサイクルにつなげていく必要があります。マニュアルの指定様式に従って報告してください。(様式447-2)
161	4.5.2	長寿支援課	被監査課に対する改善の提案	浄化槽法に基づく評価については、自ら検査結果を評価できるよう検査に係る基準表を添付してください。
162	パフォーマンス	長寿支援課	賞賛事項	介護保険事業者連絡会を通じた事業者への啓発活動により、各事業所における施設管理上の環境改善活動につなげようとしており、賞賛に値します。
163	4.3.1	保健課	被監査課に対する改善の提案	家庭訪問事業の環境影響評価について、実施内容により分解し、きめ細く環境影響評価を行うにより、事業と環境改善の関係が明確になると考えられます。
164	4.3.1	保健課	被監査課に対する改善の提案	環境影響評価について、自動車及び特定家電製品の非定常時(廃棄時)における環境側面の抽出が必要です。
165	4.5.1	保健課	被監査課に対する改善の提案	家庭訪問事業の目標設定において、PDCAサイクルが環境改善に繋がられる項目を設定することにより、取り組みの成果が確認しやすくなると思われます。
166	パフォーマンス	保健課	賞賛事項	健康増進法に基づく「家庭訪問事業」により、健康になることで医療費の削減へ結びつけるようとする取り組み。さらに、食育推進計画に基づく「食育」も、他課との調整を図りながら実施するなど、健康と環境の関係を意識し、健康増進から環境改善を図ろうとする取り組みを評価します。
167	4.3.1	産業経済部長	賞賛事項	環境影響評価承認にあたり活性化プログラム、事務事業評価、部および課の目標と関連性を考慮し、環境面から事務改善に取り組むよう適切に指導している。
168	4.3.1	産業振興課	システム提案	「目指せエコな市役所」への取り組みについては、環境側面からの特定にとらわれることなく、取り組めるシステムに変更することでユニークで楽しい取り組みができると考える。
169	4.4.7	産業振興課	賞賛事項	・サンヒルズの施設管理において、利用者への緊急時対応が試行されているとともに、台風8号発生時では適切な対応がなされていた。 ・産業経済部全体の取り組みを地域経済活性化プログラムの中で重点的に地域環境権や再生可能エネルギーについての企画立案がされており、産業界全体への取り組みに支援がなされている。
170	4.5.1	産業振興課	気づき事項	重点監査項目の進捗状況の報告を課内で4半期ごとに行えば、取組みに対して関心が向上する。
171	4.5.1	産業振興課	その他特記事項	サンヒルズ駐在の職員による施設の監視・測定を適切に毎日実施している。当たり前のことを当たり前に行うことは大切であり評価できる。
172	1	農業課	気づき事項	適用組織一覧表について、該当となる施設を再度確認し、環境モデル都市推進課と協議のうえ、次年度のマニュアルへの反映を目指してください。
173	4.3.1 4.4.2	農業課	賞賛事項	環境影響評価表において事業を適切に分類し、環境側面も同様に整理できていた。同課は事務事業が多数あり、適正な分類が困難なことは想像に難くないが、真摯に取り組む姿勢は賞賛に値する。 緊急時対応のマニュアルが詳細にわたり整備されていた。 教育訓練に熱心に取り組んでいる。
174	4.3.1	林務課	賞賛事項	事務事業における環境側面からの重点項目の整理及びその具体的な目標が適切にまとめられている。
175	4.3.1	林務課	気づき事項	環境影響評価表において、重点、日常の管理項目の記載について不備が視られるため、修正されたい。
176	4.3.1	林務課	気づき事項	環境影響評価表において、施設運営管理業務における緊急時の影響評価を整理されたい。
177	4.4.2	林務課	気づき事項	教育訓練について、実施済の1回に留めず下期においても実施されることを望む。
178	パフォーマンス	林務課	賞賛事項	緑の少年団支援事業において、地域性を活かした積極的な環境教育活動を行っている。学校教育関係組織との連携という課題について改善策を模索しながら、継続されたい。
179	1	商業・市街地活性化課	システム提案	三連蔵と地方卸売市場は、取組レベルがレベル3となっていますが、役割、責任、権限を明確にして再検討してはいかがでしょうか。 表4.4.2-1の⑩関連団体として位置づけられはいかがでしょうか。
180	4.3.1	商業・市街地活性化課	賞賛事項	電気小型バス実証運行事業におけるプチバスの運行は市街地の活性化とCO2削減の両面での効果(PR)が顕えます。
181	4.3.1	商業・市街地活性化課	賞賛事項	空き店舗活用計画で空き店舗をリニューアルして活用することは、環境、市民協働、経済、市街地活性化、防火、防犯等の多面から評価できます。
182	4.4.7	商業・市街地活性化課	システム提案	緊急事態及び事故の特定で石油類で車両が登録されていますが、民間等では登録されていることが少ないと聞きます。施設ではないので登録を外してはいかがでしょうか。
183	4.3.1	工業課	気づき事項	「目指せエコな市役所」の特定においては、様式431-1の判定結果欄に「エ」を記載し環境影響評価をすると、一層理解しやすくなると思われます。実施項目が一般業務であれば、環境影響評価表の事業名に単独で評価するののも一つの方法と思われます。
184	4.4.2	工業課	賞賛事項	一般職員の教育訓練において、独自で教育用テキストを作成していることは、自身の自覚促進にもつながり評価できます。
185	4.4.2	工業課	賞賛事項	企業と協働で環境を意識した先駆的製品開発や環境整備(草刈り等)を推進していることは評価できます。
186	4.3.1 4.3.3	金融政策課	賞賛事項	課の事業の目的を達成することにより環境への好影響があることを環境影響評価できちんと評価している。そのことで目的、目標及び実施計画が適切に設定され、飯田市の産業界に省エネ、新エネの導入促進が期待できる。
187	4.2	建設部長	賞賛事項	ラウンドアバウトに関して先駆的な取り組みをされ、重大な交通事故の減少や信号機の待ち時間の緩和等に成果を上げ、国際交通安全学会より表彰された。災害時も停電の影響を受けず、信号機の維持管理費もかからないなど他の自治体にも好影響を与えている。
188	4.2	建設部長	賞賛事項	リーア開通を見据え、上郷の土地利用について約20回ほど地元と協働で検討会を行い、景観の育成に向けて用意周到に準備をされている。

No.	章	被監査課	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容
189	4.2	建設部長	賞賛事項	建設部棟の東側に山葡萄を植栽し、日陰による涼しさ、植物による安らぎの演出のほか、収穫後に飲み物に加工するなど環境を十分楽しませている。
190	4.3.1	管理課	システム提案	4.3.1において、課長が環境影響評価を行うことを定めているが、担当者が環境影響評価表を作成し、係内での協議により影響規模、判定結果を作成し、課長が承認する仕組みが適当と思われます。そうすることにより現場での課題発見、改善につながりやすくなります。
191	4.3.3	管理課	賞賛事項	天竜川環境美化活動を重点管理項目に位置づけ積極的な取り組みを行うことにより、参加団体が増えるなど、地域ぐるみの取り組みによる緑豊かな自然環境づくりが進んでいることを賞賛します。こうした活動が日常的な環境改善活動へとつながるよう期待します。
192	4.4.7	管理課	システム提案	車両事故に関する緊急事態の試行は、想定等が空論となり実効が上がりづらい。現在の様式等による緊急事態試行訓練ではなく、教育訓練等に対応できるよう見直す必要があります。
193	4.3.1	地域計画課	賞賛事項	環境影響評価の実施に当たり、課長が係長を対象とする研修会を開催し、全ての事務事業における環境影響を係内で検討するよう徹底しています。その結果、前例踏襲に陥ることなく、新たな視点での環境影響評価が実施されていることを賞賛します。こうした活動が定着することにより、現場からの環境改善提案・活動へとつながるよう期待します。
194	4.3.2	地域計画課	システム提案	4.3.2における法的及びその他の要求事項の特定において、「環境に関する法令・条例・規程の概要一覧」を十分に活用できていないと思われます。特定する法令の漏れを防ぐとともに、法令に関する意識を高めるためには、環境影響評価時に必ず一覧表をチェックするなどの手順を環境マニュアルに定めるとともに管理職研修等において徹底することが有効と思われます。
195	4.3.1	土木課	気づき事項	「公用車のガソリンの消費削減」を目指せエコな市役所の取り組みとして、環境影響評価表・全課の結果判定欄に「エ」を記載する必要があります。
196	4.3.3	土木課	賞賛事項	公共工事への環境配慮について、公共工事環境配慮評価シートを用い、工事の評価をシステム化するとともに、数値化することにより監視測定が容易な状況で管理されている。
197	4.4.2	土木課	賞賛事項	職員の環境に対する意識が高く、複数の職員が通勤手段を車からバイク又は徒歩等に切り替えている。レベル2の動物園、子供の森公園の指定管理者とコミュニケーションが良くとれており、飯田市の環境に対する取組が理解されている。
198	パフォーマンス	土木課	その他特記事項	25年度は特に、豪雨・豪雪などの災害が重なり多忙で大変な状況であったと思われるが、環境への配慮も十分意識して業務に取組まれていると感じた。
199	4.3.2	国県リニア事業課	気づき事項	順守評価記録書(452-1)の旧様式を使用しているため、最新の様式を使用してください。
200	4.3.3	国県リニア事業課	是正処置を要する改善の機会(不適合)	環境側面から重点管理項目が2項目特定されていますが、年間計画書(433-1)及び実行計画管理表(451-1)には1項目しかなく整合がとれていません。整合が取れなかった原因を明確にし、年間計画書への記載と、実行計画管理表での測定、評価が必要です。
201	4.4.2	国県リニア事業課	被監査課に対する改善の提案	2回目の一般職員教育訓練における欠席者へのフォローアップを実施されるよう提案します。
202	4.4.6	国県リニア事業課	賞賛事項	共有文書の電子化に取り組み、保管文書の減量化を図ったことは、課職員の意識向上につながっています。
203	4.4.6	国県リニア事業課	賞賛事項	課会での資料のペーパーレス化の取り組みとして、プロジェクター使用はよいアイデアであり、成果も出ていることは評価できます。
204	4.4.6	国県リニア事業課	システム提案	タブレット端末等を利用した、各種会議のペーパーレス化の推進
205	4.5.3	国県リニア事業課	被監査課に対する改善の提案	平成26年4月15日付けで水平展開事項として通知された「緊急事態対応における変更点」について早期に車両管理手順の修正と職員への周知を実施されるよう提案します。
206	その他	国県リニア事業課	その他特記事項	今後、事業量の増大が予測されますが、引き続き環境に配慮した事業執行に努めてください。
207	4.4.2	上下水道局長	賞賛事項	環境負荷の大きな業務を抱える職場ですが、「視察・見学など多数の市民が訪れる機会を活用した、業務に関わる環境に対する取組み状況などの啓発や情報共有の取組」「浄化センターにおける排出物の再資源化の取組」「内部監査で指摘された法令に関わる職員に対する周知方法の改善の取組」など、充実した教育訓練に裏付けられて職員意識も高く、全庁的に模範となるような取組が多数認められます。今後とも局長として、飯田市役所全体の環境ISOをリードする取組みを率先して展開されることを期待します。
208	4.4.2	経営管理課	賞賛事項	毎月の課会において実行管理計画表を報告確認するなど、意識向上のための教育訓練が行き届いている。また、隣接する「お客様センター(委託企業)」へも職員の教育訓練と同レベルで行われており、一体となった行動がなされている。
209	4.4.5	経営管理課	賞賛事項	建物の位置や構造等の特性を踏まえ、冷暖房の扱いに係る独自の手順書を作成し、効率的な運用をしている。
210	4.4.2	水道課	賞賛事項	施設の衛生確保や見学者の安全に配慮しながら、年間20件余の妙琴浄水場見学を受け入れ、当市の低炭素社会創造理念や「環境文化都市」表現の地域づくりの大切さをPRし、環境意識を高める取り組みは、今後も継続を期待する。毎月、委託業者と面談を行い、当市の環境理念・環境方針を協働で実行する姿勢は高く評価できる。
211	4.4.3	水道課	賞賛事項	相談、苦情に対する適切迅速な対応とともに、外部コミュニケーションを通じて日常的改善が組織的に行われる体制は、環境に対し有益な影響を与えていると評価できる。
212	4.4.3	下水道課	賞賛事項	外部からの情報を独自様式を用い処理することで、確実に対応がなされたかを確認できるよう工夫されている。
213	その他	下水道課	賞賛事項	工事発注の仕様書において環境への負担を軽減する施行方法を求めることで受注業者の環境配慮への取り組みを促進している。
214	4.2	下水浄化センター	賞賛事項	次世代を担う人材への環境教育の推進として、施設見学や職場体験を積極的に受け入れ、市民の安全・安心を守る大切な施設であることの情報発信に努め、且つ異物の流入予防にもつながる点が評価できる。
215	4.3.1	下水浄化センター	システム提案	業務委託施設を持つ場合、環境影響評価において日常管理が欠落しがちである。日常管理も含めた環境影響評価を行う必要があり、ISO14001規格改正もその方向で進んでいるので検討を要する。
216	4.3.2	下水浄化センター	システム提案	法的要求事項及びその他の要求事項の根拠法令の該当条文を特定し、記載すると良いと思われる。どこを参照すれば良いか、誰が見てもすぐ分かるようにすることが職員の情報共有に必要であり、業務の基本を押さえていることが、業務改善や職員教育に繋がると思われる。
217	4.3.3	下水浄化センター	賞賛事項	環境方針の改定時、環境影響評価から年間計画の作成時、重点管理項目の評価時等、年8回ほど教育訓練と自覚促進が連動して行われており、記録されていた。
218	4.5.2	下水浄化センター	被監査課に対する改善の提案	マニフェスト発行が多数ある下水浄化センターでは、順守評価時に添付する書類を別冊で(原票を)綴っているが、チェック表を作成すると、進捗状況管理もでき、評価者への提出時にも一覧性の改善により評価が容易になるので工夫されたいかがか。
219	その他	下水浄化センター	賞賛事項	下水浄化センターでは、メタン等の消化ガスを利用して消化槽の加温と発電を行い、松尾浄化センターの総電気使用料の1割を賄い環境負荷の低減に努め、また他の施設では太陽光発電施設を整備しCO2削減に貢献している。
220	その他	市長公室長	賞賛事項	シティブロモーションやブランディングといった将来の飯田の価値を高める取組みを主管する部長として、「環境モデル都市飯田」を政策展開の柱とし、環境ISOを本来の業務と結びつけた取組みとして捉えようという姿勢が認められます。具体的には紙媒体としての「広報いいだ」を、若い世代などより広い世代が親しむものとするために、多彩なソーシャルメディアの活用などの課題意識が認められます。(以上市長公室長として)

No.	章	被監査課	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容
221	4.3.1 4.4.2	秘書課・広報情報課	気づき事項	環境影響評価書の判定結果(日・エ・重)の記載に関し、正しく記載してください。教育訓練に関し、実施した教育訓練の種類を区別して記録してください。また、年間計画書の「一般職員自覚促進」欄の「○」の記載漏れを修正してください。実行計画管理表(日常管理事項・エコな市役所)に関し、「ガソリンの消費」について「区分」を明記するとともに、エコな市役所として取り組む「離席時の消灯」は、年間計画書の責任者と年間スケジュールの記載を訂正してください。
222	4.4.7	秘書課・広報情報課	システム提案	「4.緊急事態試行」では、該当課長は緊急事態試行を実施して記録することになっています。4.4.7章2.2にある「緊急事態等の特定一覧表」の「車両」に関しては、「該当課」が「全課」であるので、毎年様式431-1の全庁共通で「公用車の燃料流出、車両火災」を特定し、緊急事態試行実施と記録が必須となります。しかし、車両火災と油漏れ対応は「事務局」等で統一した対応手順を示すことで、環境マニュアルの見直しから毎年同じような試行を繰り返している実態を改められるよう検討してはいかがでしょうか。
223	その他	秘書課・広報情報課	賞賛事項	重点管理項目として取り組む「広報いいだ」の発行は、環境関連の記事を年間を通じて多様な観点から捉え、毎月掲載し続けていることを評価します。昨年度スタートさせている飯田女子短大生による「いいレポ」は、レポーター数も今年度増えるなど、着実なステップアップが何れ取り組みを評価します。今後、「いいレポ」レポーターの主体的な広報活動が発展的に展開されていくことを期待します。
224	4.3.1	危機管理室	システム提案	事務事業の一般事務については全課共通様式により評価しているため、全ての事務事業について環境影響を評価する必要がないのではないかと思います。ISOは、事務事業の改善や行政事務の効率化による環境負荷の軽減についても検証するべききものであると思うので、ISOの取組事務の改善は重要であると考えます。環境への影響が著しいと判断できるもの、あるいは重点管理が必要な事務事業についてのみ環境影響評価書の作成が良いのではないかと思います。
225	4.3.1	危機管理室	その他 特記事項	市営駐車場の管理運営事務の環境影響評価にあたり、有害な環境影響だけが挙げられているが、駐車場利用者への啓発や非常時の対応など有益な環境影響の視点もあるので、違った視点で環境側面を捉えることも必要である。
226	パフォーマンス	危機管理室	賞賛事項	非常時に対応するための備蓄資材の購入にあたり、環境負荷の低減に配慮した電気消費量の少ない機器の導入に心掛けている。常時利用するものではないが、常に環境に配慮した事務執行を進めている職員意識の表れとして評価できる。
227	4.3.1	会計課	賞賛事項	「口座振り込み通知のメール化」や「口座払いの推進」などの本来業務を通じて会計課が影響を及ぼすことのできる環境側面を的確に特定されていた。
228	4.3.1	会計課	被監査課に対する改善の提案	会計事務の一つである「物品の出納及び保管」は、物品の適正管理、適正処分、必要部署でのリユースにつながる重要な本来業務であるので、環境側面を特定し環境影響評価することが望ましい。
229	4.3.3	会計課	気づき事項	「口座振り込み通知のメール化」や「口座払いの推進」の効果を確認するためには、金額・事業所数などの数値的なものを明確にしておくことが望ましい。
230	4.4.2	会計課	賞賛事項	年度途中の人事異動者、新人採用者、臨時職員採用者それぞれに必要な教育が独自教材により、着任とともに素早く実施されていた。
231	4.4.3	会計課	システム提案	「職員提案書」については事例が少ないので、機能しているかどうかの検証をし、個人で提案するのがよいのか、課単位で提案するのがよいのかなど検討する必要がある。
232	パフォーマンス	議会議務局長	賞賛事項	議事事務局という組織の性格上、組織内外への影響力のある職場としての特徴(組織内部:議員活動を通した職員への影響力、組織外部:市民代表として、あるいは議会視察を通した発信を活かした、議員と事務局職員が一体となって率先した環境改善の取組が認められます。紙資料の削減に向けたPC活用による事務局会議を執行されているほか、ホワイトボードの活用によるペーパーレス化などの検討を進められており、今後も他の職場の模範となるような率先垂範の取組を期待します。
233	4.3.3	議会議務局	賞賛事項	議長車の切替時期に環境重視でエコカーに交替した。
234	4.3.3	議会議務局	賞賛事項	議会だよりの発行を通じて議員及び市民の環境意識の啓発に努めている。
235	4.4.2	議会議務局	賞賛事項	議員に対して、庁内外の環境関連の情報を積極的に提供している。
236	4.3.1	学校教育課	賞賛事項	環境影響評価について、全事務事業において影響評価を行い重点管理項目・日常管理項目・目指せエコな市役所を特定し、児童・生徒・地元関係者等と連携し、環境負荷低減を目指した適切な運営管理が行われていた。
237	4.3.1	生涯学習・スポーツ課	賞賛事項	キャリア教育や農家宿泊体験、おもしろ科学工房など環境教育の推進を積極的に支援している。
238	4.3.1	生涯学習・スポーツ課	賞賛事項	グラウンドの夜間照明をLEDからメタルハライドに交換して消費電力量の削減に努めている。
239	4.4.2	生涯学習・スポーツ課	賞賛事項	独自の資料を作成して教育訓練を行い、市民とのかかわりや重点管理項目について職員の理解度の向上に努めている。
240	4.4.2	歴史研究所	賞賛事項	今年度から廃棄物の取り扱いに係る責任者を3人選任し、県外からの研究員に対して指導をされており、職員の教育・訓練の実施を通じて環境に対する意識向上に努めている。
241	1	市公民館	賞賛事項	同一サイト内の各施設(市公・旧市5地区、鼎、勤労青少年ホーム)を一括りにして統一した取り組みに決めてしまおうではなく、それぞれに独自の内容を検討して取り組んでいるところが特徴的であるといえる。
242	4.4.2	市公民館	賞賛事項	今年度の重点監査事項である職員の教育訓練について、通常環境システムの訓練に併せて危機管理ガイドラインに沿った訓練も実施している。また、5月にはサイト外の公民館主事を含めた全職員を対象にした普通救命講習訓練を実施して、知識と技術の向上に努めている。
243	4.3.1	文化会館	賞賛事項	オケ友音楽祭・人形劇フェスタ・伊那谷文化芸術祭等多数の市民が参加するイベントにおいて、各実行委員会を通じて飲み物等の使い捨て容器の不使用、相乗りによる移動、渋滞緩和等廃棄物の削減や排ガスの削減について、市民と協働したエコ活動に取り組みができている。
244	4.3.1	文化会館	賞賛事項	ホールの舞台用調光システムや演出用照明器具は特殊なものが多くて選択範囲が狭いが、更新の際には照明の消費電力ダウン・コスト削減を検討し、LEDに交換するように努めている。
245	4.4.2	文化会館	気づき事項	教育訓練記録について、訓練実施後の承認者の承認印がありませんでした。単なる印漏れか未提出であったのか不明確でしたが、訓練記録の承認者への報告とその際の承認印の受領を確認して保管してください。
246	4.3.2	中央図書館	是正処置を要する改善の機会(不適合)	中央公民館に設置してあるエレベーターの保守点検・定期検査が、法的要求事項から漏れていました。必要な法令の点検、拾い出しに際して、認識していなかったことが原因と考えられます。建築基準法第8条・12条が根拠となりますので、確認の上、法的要求事項と順守評価を追加してください。
247	4.3.3	中央図書館	賞賛事項	昨年度開催した「図書館まつり」において、「伊那谷の電気事業」をテーマにして、地元の企業や市民、庁内関係課等との協働により、小水力発電の一般的事項を始め、当地域における現在の取り組み状況のみならず、戦前の民営発電の事例を紹介し、大きな反響がありました。このことは、「地域環境権」を盛り込んだ今年度の環境方針改訂を先取りした取り組みであったと言えます。また、今年度は「地名」をテーマにした連続講座を企画しており、地域の環境、歴史、風土、文化を紹介して、持続可能な地域づくりへの関心を高めようとの意図が明確です。このような企画を市民等との協働で実施していることは環境管理委員会等へ報告してよいと思われまます。

No.	章	被監査課	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容
248	4.3.3	中央図書館	是正処置を要する改善の機会(不適合)	重点管理項目として設定されている「図書館サービス業務」は、図書館講座と図書館祭りを実施項目としていますが、様式433-1の実施項目の欄は、講座・講演会をどのような手段で開催するかのみで記述で、具体的な実施時期や企画内容が記述されていません。また、同様式の年間スケジュール欄は毎月〇月、実際の実施月に◎と記されていました。一方、様式451-1では、実際に実施した企画について、時期や結果が記載され、評価されています。様式433-1と451-1との対応関係に対する認識が不完全であったためと考えられます。様式433-1の該当部分を訂正し、451-1との対応関係を明確にしてください。
249	4.4.6	中央図書館	賞賛事項	図書館業務の環境影響は一般的な範囲ですが、目的目標計画及び実効の過程において、代表者会(係長以上の会議)が、実施状況や結果を確認し、計画や改善策を話し合い、実行している仕組みが設けられており、定着しています。このことは、他のサイトでもPDCAサイクルの実効性を高めるための参考になるものと認められます。
250	4.4.6	中央図書館	気づき事項	電気使用量は25年度に前年と比べて、デマンド方式を採用せず(料金発生のため)人的管理で削減に努めたが、管理しきれず111%と増加となった。中央図書館に限らず、デマンド料金方式の対象となる施設はあると思われますが、いわゆるピークカットを適切に実施し電気料金を抑制するためには、職員による人的管理ではなく、何らかの装置を設置する等の対策が効果的と考えられます。資源と資金の無駄遣いを避けるためにも、そのような対策を講じることについて、予算編成時に検討するのではなく、環境管理委員会等で検討されることを提案します。
251	4.4.6 4.4.7 4.5.1	中央図書館	システム提案	環境マニュアルでは、課長の権限と責任が大きな比重を占めており、職員は「ISO14001は課長が行うものというイメージ」を抱がちです。しかし、PDCAサイクルを役割分担として見れば、「P」は課長、Dは実施責任者と全職員、Cは課長と実施責任者、Aは全職員となると考えられます。ISO14001の取組は、ややマンネリ化した観もなきにしもあらずです。賞賛事項として評価した2、3、4の取組をすべてのサイト1-1で展開できるように検討してみてください。
252	4.4.7	中央図書館	賞賛事項	日常管理項目の運用管理、緊急事態への準備及び対応において、図書館施設の実情に則して、電源スイッチ類や消火器等の場所が示されており、点消火あるいは消火等の手順及び担当者などを記載したマニュアルが作成されています。全職員が実際の運用管理に関与するために大切な取り組みと認められます。
253	4.5.1	中央図書館	賞賛事項	環境方針及び環境マニュアルの改訂、サイトの年間計画の作成、トップインタビューの3機会を捉えた教育訓練が行われていました。評価した仕組みを形骸化させないために、教育訓練、自覚促進と連動させていることが伺えます。
254	4.3.2	美術博物館	是正処置を要する改善の機会(不適合)	エレベーターの保守点検、非常用発電機設備点検が法的要求事項から漏れていました。必要な法令の点検、拾い出しに際して、認識していなかったことが原因として考えられます。関連法規を確認の上、法的要求事項として順守評価を追加してください。
255	4.3.2	美術博物館	是正処置を要する改善の機会(不適合)	上郷考古博物館の灯油の地下貯蔵施設に係る緊急事態施行訓練が実施されていませんでした。昨年度の監査で指摘された管理手順の未整備は解消されていたものの、環境マニュアル4.4.7の理解不足が原因と考えられます。すべての管理手順を定めた緊急事態について、施行訓練を年度計画に位置付け、実施してください。
256	4.3.2	美術博物館	被監査課に対する改善の提案	美術博物館及び関連施設は産業廃棄物の発生が認められませんので、様式432-2「法的及びその他の要求事項一覧(施設・設備関連法令)」の順守評価該当有無欄の「有り」の表示は錯誤と考えられます。有無欄は「無し」に修正し、適用施設名欄を空欄にしてください。
257	4.4.2	美術博物館	賞賛事項	環境意識の向上等のために職員に対して行っている教育訓練において、環境方針の「地域環境権」についての説明が、全人類的な広く深い視点で捉えられており、職員に熱心に伝えられていた。
258	4.4.2	美術博物館	被監査課に対する改善の提案	教育訓練記録の記載に際し、④一般教育訓練と⑤一般職員自覚促進の表示が適切でないこと、出席者本人が欠席者の欄に記載していたということですので、表記方法を間違えないようにしてください。
259	4.4.7	美術博物館	是正処置を要する改善の機会(不適合)	実施した試行訓練の記録が独自の様式で行われていました。消防法に基づく防火訓練や市の防災訓練の実施記録をもって兼用することは問題ないといえ、その対応で完了したと認識されたことが原因と思われるが、その場合でも様式447-2にその旨を記載する等の対応をしてください。
260	4.3.2	選挙管理委員会事務局	システム提案	「法的及びその他の要求事項一覧」において、当面は処分予定がないものの冷蔵庫、TV、自動車等を所有している場合の「順守評価該当有無」の記載方法について、監査員及び被監査課によって判断がまちまちであるため、事務局から統一見解を示して水平展開してください。
261	4.3.3	選挙管理委員会事務局	賞賛事項	8/10執行の長野県知事選挙において、ポスター掲示板及び掲示板設置部材をリユース可能な材質にすることで、環境負荷の低減に配慮した取り組みがなされています。
262	4.3.3	選挙管理委員会事務局	賞賛事項	8/10執行の長野県知事選挙の投票事務に際して、従事者全体の約1/3に当たる115人の市民の皆さんの協力を得て実施していることは、市民に対する選挙意識の啓発とともに市民協働による選挙推進に有効であると判断します。(115人の内訳は、地域推薦63人、選管依頼44人、飯田風越高校生6人、飯田女子短大生2人。)
263	4.3.3	選挙管理委員会事務局	気づき事項	重点管理事項に「選挙啓発事業」を掲げていますが、年間スケジュールでは県知事選挙期間を想定して5~8月だけの対応となっています。選挙事務局で唯一の重点管理項目ですから、県知事選挙対応での効果検証や今後の選挙啓発事業の展開の検討などの実施項目を掲げて、通年の取り組みとしてはいかがでしょうか。
264	4.3.3	監査委員事務局	賞賛事項	定期監査及び検査資料の提出様式や添付資料の見直しを行うことで、被監査課等の資料作成の効率化と紙の消費の削減に継続的に取り組んでいる。また、定期監査時に電気、水、ガソリン等の削減取組の聞き取りを行い、消費抑制に向けた取組の一層の促進と意識の高揚に努めている。
265	4.3.1	農業委員会事務局	気づき事項	環境側面は適切にピックアップしているが、年間計画書に記載するにあたり、事業内容と区分の分け方が一部整合を欠いていた。再度内容を精査し、次年度作成の折に点検をしてください。
266	4.4.2	農業委員会事務局	賞賛事項	職員に対する教育訓練を非常に熱心に行っている。局長は職務に関連した環境事案について独自にテキストを作成し、教育訓練を行っている。
267	4.4.2	農業委員会事務局	賞賛事項	農業委員への環境教育を機会をとらえて行っており、事務局としての立場から周知教育を積極的に行っている。
268	4.3.3	介護老人保健施設	賞賛事項	緑のカーテンを利用者と共に管理して育てていたり、また、植栽については、周辺住民有志によるボランティアの方々と共に作業等を行っており、市民協働の取り組みが行われている。
269	4.4.2	介護老人保健施設	賞賛事項	医療、看護、介護、リハビリ、調理関係を含む交替勤務体制の人数の多い職場であるが、教育訓練に力を入れ、理解が浸透している。また、自覚促進では、地域環境権の紹介や広報いっだを利用した市の環境政策の紹介など工夫した内容により、環境意識の向上を図っている。